

31日土幌でイベント

氷の灯火地域挙げて

【土幌】アイスキャンデルに火をともして冬の街中を彩る「Shihoro on ICE」(同実行委員会主催)が31日夜、町タウンプラザ前で開かれる。3回目の今年もアイスキャンデルを並べるに当たって目標数を設けず、「みんなでつくる」をコンセプトに地域全体でつくり上げていくことを目指している。



アイスキャンデルを手にイベントをPRする石村さん(右)ら。今年も雪像もお目見えする

元町地域おこし協力隊の石村菜矢さん(28)の発案で、3年前に始まったイベント。同じ時期に隊員だったメンバーにも声を掛け、アイスキャンデルの製作のノウハウを商店街関係者にも教わって始めたところ、初回は目標200個に対して約400個、昨年の2回目は目標600個に対して約800個を製作した。今回は実行委のメンバーも倍増。「冬のイベント創出と商店街に活気を持たせたい」という石村さんの思いに賛同した西瀧孝安さん(しほろ旅館)ら異業種の4人が仲間入りし、8人となった。

今回はアイスキャンデル製作の目標数を設けず、実行委側の製作も約100個にとどめて地域住民の協力を呼び掛けている。氷の器として完成した状態で持ち寄ってもらい、タウンプラザの周辺に並べる。数に余裕があれば、町内のメインストリート「西2線通り」沿いの歩道にも設置する。現在は30個近く集まっている。

また、雪の結晶をバックに、映画「アナと雪の女王」に登場する人気キャラクター「オラフ」をかたどった高さ2.5メートルの雪像も登場する。27日夜には実行委のメンバーらが集まり、アイスキャンデルの配置や、雪を削り出すなどして雪像の仕上げに取り掛かった。

31日は午後6時から点灯式を行う。町内でアイスキャンデルの製作に長く携わっていた足立隆夫さん(故人)が使用していたキャンデルで火をともし、実行委員長石村さんは「多くの人の協力があって続けられているイベント。感謝の思いを込めてともしたい」と話している。

来年は土幌交通公園内にある旧土幌駅舎の周辺でもイベントを行う考えで、2月1日に試行的にアイスキャンデルを並べて火をともし予定。

(小縣大輝)